

復旧・復興 -福島県土木部- インフォメーション

Vol.53
2019.9.20
Fukushima

いわき建設事務所news

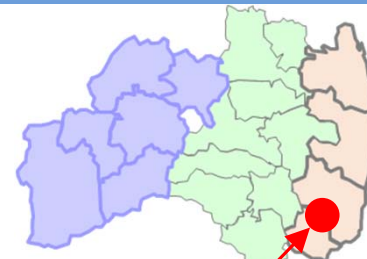
とわだ

国道399号戸渡トンネルが開通しました。

令和元年7月5日（金）に、東日本大震災や原発事故からの復興を支える「ふくしま復興再生道路」に位置付けられ、いわき市と川内村にまたがる戸渡トンネル（延長768m）を含む国道399号の戸渡2工区（延長1.2km）が開通しました。

冬場は凍結して事故が多く、利用者は富岡町経由で通常の倍の時間をかけて、いわき市に行っていました。いわき市は隣接する近くて遠い街であり、昔から行きたくても大変不便な隣町でした。そのため、悲願のトンネル開通となりました。

国道399号では今回開通した戸渡工区のほか、十文字工区でもトンネル工事を含め事業を国土交通省とともに実施しており、この工区の開通により、さらに川内村・いわき市間の所要時間が短縮され、今後の川内村の大きな発展に寄与することが期待されています。



川内村・いわき市



完成した戸渡トンネル



テープカット及びくす玉開披の様子

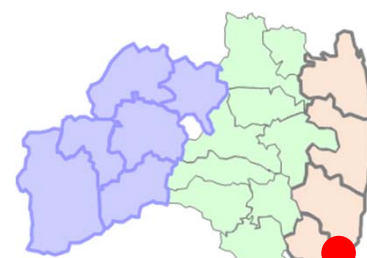
この記事の問い合わせ先：いわき建設事務所 道路課 0246-24-6125

いわき建設事務所news

いわき市岩間地区の復旧・復興事業が完了しました。

東日本大震災で甚大な被害を受けたいわき市岩間地区において、「多重防御」による「総合的な防災力の高いまちづくり」を進めるために整備してきた岩間佐糠地区海岸、県道泉岩間植田線、岩間防災緑地の復旧・復興事業が完了しました。

令和元年9月4日（水）に工事の完成を祝い、事業関係者や地元の方々等を招いて、岩間地区復旧・復興事業竣工式を行いました。竣工式では、テープカット・くす玉開披や防災緑地づくり協定式典、東田保育園園児による東田太鼓演奏が行われました。



いわき市

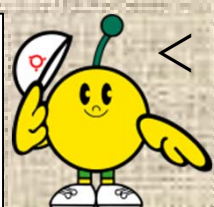


テープカット及びくす玉開披の様子



復旧・復興事業が完了した岩間地区

この記事の問い合わせ先：いわき建設事務所 道路・橋梁課 0246-35-6075



復旧・復興に向けた取り組みを紹介します

福島県 公共土木施設復旧・復興情報
～ふるさとの再生と帰還にむけて～ **福島県土木部**

Web版はコチラ→ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/dobokufukkou-top.html>

東日本大震災からのインフラ復旧・復興の取組をPRしています。

福島県では、風評払拭及び震災の風化防止を図るため、県内外各地で開催されているイベント等において、東日本大震災からのインフラ復旧・復興の取組をパネルやパンフレットなどを用いて紹介しています。

また、今年度は復興まちづくりをテーマに、震災の記憶の風化防止とこれまでのご支援に対する感謝の気持ちを込め、津波の被害状況及び被災地の復興状況を伝えるパネル展を岩手県・宮城県・福島県の3県合同で開催しています。是非、ご来場ください。

P R活動の様子▶

<今後の被災3県パネル展予定>

- R1.9.24~10.4 福島県庁
- R2.2.3~18 岩手県庁
- R2.3.2~13 宮城県仙台市青葉通り地下道

<今後のPR活動予定>

- R1.9.21 ふくしまフェスタin道の駅あいづ湯川・会津坂下
- R1.11.2 ふくしまフェスタinセデッテかしま
- R1.11.29~30 ふくしまフェスタin仙台駅
- R1.12.21 ふくしま大交流フェスタ2019 (東京国際フォーラム)



東日本大震災からの復興まちづくりパネル展
～いわて・みやぎ・ふくしま～

福島県「ラッセふくしま1階アトリウム」にて、9/17(火)～9/20(金)まで開催します。
※パネル展示時間9:00～17:00(17日は13:00まで、20日は13:00まで)
引き続き、福島県庁本庁舎・西庁舎2階渡り廊下にて、9/24(火)～10/4(金)まで開催します。
※パネル展示時間9:30～17:15(土曜日休館日)

問合せ先 福島県土木企画課 TEL:024-521-7886 FAX:024-521-7950

土木施設の復旧と海岸堤防

海岸堤防と市道を一体的に福島県が整備しました。
平成30年4月21日市道大洲松川橋が開通しました。

【お客様の声】

- ・今後、復旧・復興が進んだ沿岸部の地域を観光したい。
- ・被災地の復興まちづくりの事業概要が分かって良かった。
- ・故郷の復旧・復興の状況を知ることができて良かった。

この記事の問い合わせ先：土木企画課 024-521-7886

復興祈念公園の基本設計を公表しました。

令和元年5月30日(火)に復興祈念公園の基本設計を公表しました。基本設計では、復興の時間軸を考慮した4つの目標年を設定して、「生命(いのち)をいたみ、事実をつたえ、縁(よすが)をつなぎ、息吹よみがえる」という4つの基本理念ごとに公園の機能を具体化し、各目標年において重ね合わせたものを公園の基本設計としました。

浪江町・双葉町

地元6町村の避難指示解除の目標時期である2023年(震災から12年後)に予想される姿

この記事の問い合わせ先：まちづくり推進課 024-521-7510

思い出の道(仮称)
津波の被害を受けた住居跡を残し、かつての集落での暮らしの記憶を継承すると共に、震災の脅威・被害を伝え教訓を伝承。北側には、慰霊碑等を配置し、震災前からある道沿いに慰霊のための空間を展開

地域の伝統を継承する場
地域の記憶が深く刻まれた両竹山の周辺に、地域の伝統行事や伝統工芸を継承するための空間を整備
○地域の伝統の継承・継承の場
○地域の伝統工芸にふれる場
○地域の自然材料を使った工作体験・アート体験の場
○地域の伝統行事・文化にふれる場
○地域の歴史を伝える場として両竹山の一部を公園で保全

まちや産業の復興を促す場
新たな賑わいの場となるスポーツやレクリエーションのための広場を整備
まちや産業の復興を促す活動・イベント等を展開
スポーツ
屋外コンサート
気球大会
オートキャンプ

公園から広がる花の園地
花卉産業や市民と連携し住居跡や震災遺構をつなぐ
福島県の震災被災者支援や、地域のゆかりのある花(花卉産業と連携した品種改良種等、公園を中心として花を継承)
コスモス(国産の花) サクラ(復興の花) トルコギキョウ(復興の花)

追悼と鎮魂の丘
震災の犠牲となったすべての生命を悼む場として、追悼と鎮魂の場となる丘を整備
祈りの場及び震災の記憶と教訓を伝え続ける場所として、震災方向や、福島第一原子力発電所の排気筒の地、震災遺構や住居跡、中間貯蔵施設、防護堤や保安林等を望むことのできる360度の展望が可能な丘を整備
福島県の復興を象徴する花の広がりにより、公園理念の「息吹よみがえる」を実現できる場を整備

地震・津波の威力を伝える町道損壊箇所
公園から広がる花の園地
追悼と鎮魂の丘

2023(震災から10年)時点で、以下の施設は整備完了予定
シンボル軸(国道6号以南)
シンボル軸北側の町道(歩道橋を含む町道北側の町道)

凡例
○公園(一部計画)
●公園(一部計画)
○公園(一部計画)
●公園(一部計画)
○公園(一部計画)
●公園(一部計画)
○公園(一部計画)
●公園(一部計画)

0 50 100 200m
S=1:5,000 (A3)

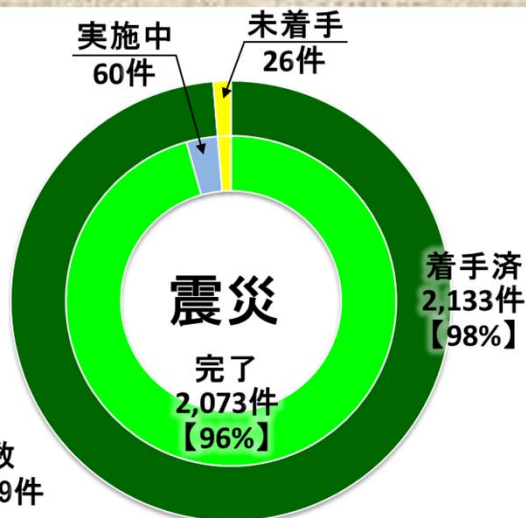
Report

東日本大震災・災害復旧事業の進捗状況 (令和元年8月31日現在)

着手 **98%** 完了 **96%**

※率の算出は事業実施箇所数に対し、事業着手した箇所数の割合を着工率、事業完了した箇所数の割合を完了率、として算出しています。(小数点以下切り捨て)
※帰還困難区域の査定が未実施の箇所は含まれていません。今後の査定実施により箇所数が増加する場合があります。

査定決定数 2,159件



東日本大震災の災害復旧進捗状況について、ホームページで公開しています。今後の見通しについても掲載していますので、下記アドレスからご覧下さい。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/saigai/fukkyu-1.html>

■もう一言

福島県職員(土木部)募集案内(パンフレット)を発行しています。県土木部の業務内容や仕事の魅力、インターンシップ制度などについて紹介しています。詳細は、下記アドレスからご覧ください。
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/dobokusyokuin.html>
問い合わせ先:土木企画課 024-521-7457

福島県土木部 土木企画課 システム担当
TEL:024-521-7886 FAX:024-521-7950
Mail:doboku_system@pref.fukushima.lg.jp